

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

# News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **20** 2014.9

郷 西南学院大学



シャバット・ランプ [西南学院大学博物館所蔵]

## 特集 安息日の始まりに灯される明かり… シャバット・ランプ

ヴォーリズ建築を求めて⑧ 京都御幸町教会(会堂)

企画展紹介 シーボルトの見た「日本宗教」

所蔵品紹介 シャバット・ランプ

大学博物館紹介⑩ 琉球大学資料館(風樹館)

SEINAN GAKUIN  
1920





SEINAN GAKUIN  
1920

ヴォーリズ建築を求めてⅩ

## 京都御幸町教会(会堂)

今回紹介するのは、大正2年(1913)年にヴォーリズが設計を手がけた京都御幸町教会会堂です。

本会堂は、これまで見てきたヴォーリズ建築と同様に、簡素でありながらも重厚感のある造りとなっています。しかし、本会堂には他のヴォーリズ建築に見られない特徴的な工夫がいくつか施されています。一つは、講堂との境に装置されている揚げ戸であり、これは講堂の集会室と一体的利用を図るために用いられたものだと思います。もう一つは、教会入口の見えない十字架です。入り口と扉の枠の白い石を結び合わせると十字架が浮かび上がってきます。これは、キリスト教に好意的でない人々に配慮しつつ、信仰のしるしを残そうとした試みの結果だと考えられます。

京都御幸町教会は、初期ヴォーリズ建築の姿と、ヴォーリズが教会建築に込めた想いと工夫を現在にも伝えてくれる、貴重な例だと言えるでしょう。

学芸調査員 下園知弥



写真提供元/日本基督教団京都御幸町教会

### 【大学博物館紹介⑱】

## 琉球大学資料館(風樹館)

琉球大学資料館(風樹館)の起源は、全国の大学に先駆け1967年に農学部附属の農業資料館が設置されたことに始まります。当時は、古農具類や動植物の展示を中心としていましたが、1985年に全学共同利用施設として現在の資料館が整備されて以降、学内の研究活動によって収集された琉球列島各地の標本、資料が7万点以上も收藏されています。

そのジャンルも幅広く、イリオモテヤマネコやヤンバルクイナなどの希少生物の剥製標本をはじめ、考古資料、伝統工芸



資料、民俗資料など、琉球文化圏と亜熱帯地域である沖縄ならではの資料が多数展示されています。また、自然観察の場として利用できる「学校ビオトープ見本園」が併設されており、昆虫やメダカなどが観察できるほか、チョウ類の食草や資源植物なども植栽展示するなど、研究・教育いずれも非常に充実した大学博物館となっています。

学芸調査員 阿部大地



開館時間/月~金(年末年始除く)午前10時~午後5時  
お問合せ/〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
TEL/FAX:098-895-8841  
U R L/ <http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/index.php>



## 安息日の始まりに灯される明かり… シャバット・ランプ

ユダヤ教において毎週土曜日は一切の労働が禁じられる安息日です。安息日は毎週めぐってくる聖日であり、ユダヤ人の信仰生活の基本とされています。安息日を迎える準備として、その前日にランプに火をつける習慣があります。そのランプをシャバット・ランプと言います。

本資料は19世紀に作られたブロンズ製のものです。中央にはヘブライ語で安息日を意味するシャバットの文字が表されています。そして、その文字の上部と下部には12個の装飾があり、それらは聖書で語られるイスラエル12部族のエンブレムだと推測されます。

このようにユダヤの祭器には、聖書の記述にもとづく装飾がみられます。

学芸研究員 内島美奈子



ダン族のエンブレム「蛇」



ユダ族のエンブレム「獅子」  
「ユダはしの子」(創世記 49:9)

## 学芸員の眼 — 巡回展における展示空間の違い —

博物館によって展示する環境は異なります。展示スペース、展示ケース、照明設備などに違いがあるためです。その違いを特に感じる機会として、同じ企画の展覧会がいくつかの博物館で行われる巡回展があります。同じ資料を同じ構成の企画で展示してもまったく違う空間となります。しばしば大きな資料を展示するケースがなかったりなど、様々な問題がでてきますが、その条件

の違いを工夫して解決するのが学芸員の腕のみせどころです。

当館で8月31日に終了した春季特別展が、9月4日より梅光学院大学博物館に会場を移しました。今回、梅光会場の魅力を活かした、わかりやすい展示空間となっています。西南の会場に来てくださった方も、梅光の会場にぜひお越しいただき、違った展示空間を楽しんでいただきたいと思います。

学芸研究員 内島美奈子



梅光学院大学博物館での  
展示風景



西南学院大学博物館での  
展示風景

# 突撃!! となりの博物館

## 西南バックステージレポート

みなさんは、  
どのような仕事を  
されてるんですか?



博物館館長の  
宮崎です。  
今日は当館で働く  
スタッフの仕事を  
ご紹介します!

宮崎 館長

私は館の代表者として、広報活動を行いながら、  
他の博物館と連携し、館の発展を目指しています。

### File.01

#### 展示会は 学芸員の 作品です。



安高さん  
(学芸員)

大学博物館の学芸員として、  
他の大学博物館の調査や特別展示に向けて  
企画立案を行っています。  
皆さんが楽しめる面白い博物館を目指して、  
日本各地を飛び回っています。

### File.02

#### 毎日が 新しい発見の 連続です。



内島さん  
(学芸研究員)

私は安高先生の補佐として、  
主に特別展の企画・準備を行っています。  
他にも、講演会の準備や刊行物の  
担当の割り振りなど、  
毎日新しい仕事を担当しています。

### File.03

#### 子ども達との 笑顔あふれる ひととき。



山尾さん  
(学芸調査員)

私はワークショップの企画・運営を行っています。  
子ども達に楽しんでもらえる企画を  
考えることにやりがいを感じています。  
子どもだけでなく  
学生も楽しめる取り組みも行っています。

### File.04

#### 「日本」に ついて 学んでいます。



マルセルさん  
(インターン生)

私はドイツからの留学生として博物館で  
インターンをしています。  
展示解説の翻訳やFace Bookの更新を  
担当しています。日々、仕事を通して  
いろいろ新しいことを学んでいる最中です。

他にも、当館には講演会会場の予約や保険の手配を行うスタッフもいます。  
このようにたくさんの人の支えがあって、当館は運営されています。  
皆さんもぜひ足を運んでください!!



博物館実習成果展VI

# 儀式にみる信仰の形

～Forms of faith through ceremonies～

会期 / 2014(平成26)年8月1日(土)～9月20日(土)

会場 / 西南学院大学博物館3階

主催 / 西南学院大学博物館

## 開催概要

博物館実習生4名による実習成果展は、当館所蔵品から実習生が資料を選びテーマを設定したものです。当館の所蔵品の特色であるキリスト教とユダヤ教の資料を儀式というテーマで関係づけ、パネルでの解説やキャプションにも実習生それぞれの意見が反映されています。小規模ながらそれぞれの宗教について深く学ぶことができる展覧会です。



ジュダイカ・コレクションⅢ

# 「祈りの継承」

～ユダヤの信仰と美術～

会期 / 2014年11月7日(金)～2015年1月17日(土)

主催 / 西南学院大学博物館

## 開催概要

ユダヤ教の信仰によって生み出された多様な美術工芸品ジュダイカ。美しさとともに、その装飾には宗教的な意味がこめられている。キリスト教の源流でもあるユダヤの信仰に美術という側面から迫る。



## 企画展

現在開催中

# シーボルトの見た「日本宗教」

会期 / 2014(平成26)年  
9月3日(水)～10月30日(木)

ドイツ人、フィリップ=フランツ=フォン=シーボルト(1796-1866年)はヨーロッパにおける日本研究の祖で、1823年から1830年まで、日本に滞在していました。その時に実見した江戸時代の日本の様子を『NIPPON』(1832年)に著します。日本の祭りや慣習などを主に取り上げたこの著作で、彼は日本の宗教に関しても言及しています。当時、キリスト教を弾圧する禁教政策を江戸幕府は採用しており、九州を中心として絵踏みが年中行事として行われていました。シーボルトは日本で公に信仰されていた宗教である神道、仏教、儒教について取り上げ、独自の宗教観に基づいて、考察を加えています。キリスト教徒であったシーボルトの宗教観には、「偶像崇拜」への問題意識があったことに気がつくます。

今回の企画展示は、シーボルトの宗教観のキーワードの一つである「偶像崇拜」に焦点を当てたものです。新年の年中行事として描かれた絵踏みの様子から、日本のキリスト弾圧を紹介し、シーボルトが見た日本宗教の特色を考察する内容となっています。



## せいなんこどもワークショップ2014 ご報告

### 【せいなんこどもワークショップ】

8月2日に、せいなんこどもワークショップ「わたしのせいなんミュージアム」を開催いたしました。博物館に関する問題が載った当館オリジナルの学習ノートを手手に、子どもたちは西南大学生ボランティアのお姉さんとペアを組んで、博物館を一生懸命に探検しました。保護者の方の前での学習成果発表会でも、すばらしい発表をしてくれ、子どもたちの眩しい笑顔に博物館スタッフも元気を頂きました。参加してくれた子どもたちにとって、夏休みのいい思い出になってくれたらうれしい限りです。



学芸調査員 山尾彩香

### 【せいなんおでかけワークショップ】

8月5、6日に西有家図書館、有家図書館と原城図書館で「せいなんおでかけワークショップ2014」を開催しました。缶バッチやポルトガル船、地球儀づくりのプログラムを行い、総勢80名の小学生と幼稚園生が参加してくれました。バッチづくりでは、図書館から借りてきた本をもとに、世界に1つだけのオリジナルバッチを作りました。また、ポルトガル船と地球儀づくりでは、南島原市職員、稲益あゆみさんによるレクチャー、南蛮貿易と天正遣欧使節について学び、その後に実際に制作をしました。南島原市の子ども達や図書館の方と一緒に活動する貴重な時間を持つことが出来ました。



学芸調査員 出口智佳子

## 行事予定

2014(平成26)年

### 【特別展／企画展】

8月21日(木)～9月20日(土) 実習生企画展VI  
儀式にみる信仰の形-Forms of faith through ceremonies-  
[場所] 西南学院大学博物館3階

9月3日(水)～10月30日(木) 企画展  
シーボルトのみた「日本宗教」  
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展室、2階講堂

11月7日(金)～2015年 1月17日(土) 2014年度秋季特別展  
ユダカコレクションⅢ「祈りの継承」——ユダヤの信仰と美術  
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展室、2階講堂

### 【講演会】

10月18日(土) 14:00～16:00  
第15回特別展関連公開講演会  
[場所] 梅光学院大学図書館ホール  
[講師] 安高 啓明氏(本学博物館学芸員)  
「九州・山口におけるキリスト教史」

### 【せいなんこどもワークショップ2014】

11月15日(土) 10:00～12:00  
「ヘブライ語でうたってみよう」  
[場所] 西南学院大学博物館

2015年 3月15日(日) 10:00～12:00  
「しおりを作ってみよう!」  
[場所] 西南学院大学博物館

### 【せいなんおでかけワークショップ】

11月15日(土) 10:00～12:00  
「天草四郎エコ・デコレーション」  
[場所] 南島原市原城図書館

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。  
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

### 【博物館古文書講座・西南コミュニティセンター主催講座】

「古文書」を読もう(初級)

「古文書」を読もう(中級)

1	9月17日(水)	古文書に親しもう - 古文書事始 -	西南学院大学国際文化学部 助教(博物館教員) 安高 啓明	1	11月5日(水)	福岡藩家老の記録1	西南学院大学国際文化学部 教授 宮崎 克則
2	9月24日(水)	禁教の時代 - 宗門改帳と宗門手形 -	西南学院大学国際文化学部 助教(博物館教員) 安高 啓明	2	11月12日(水)	福岡藩家老の記録2	西南学院大学国際文化学部 教授 宮崎 克則
3	10月1日(水)	島原・天草一揆を読む①	南島原市教育委員会 稲益あゆみ	3	11月19日(水)	西海捕鯨の記録1	福岡アーカイブ研究会 森 弘子
4	10月8日(水)	キリシタン資料を読む	西南学院大学国際文化学部 助教(博物館教員) 安高 啓明	4	11月26日(水)	西海捕鯨の記録2	福岡アーカイブ研究会 森 弘子
5	10月15日(水)	島原・天草一揆を読む②	南島原市教育委員会 稲益あゆみ	5	12月3日(水)	西海捕鯨の記録3	福岡アーカイブ研究会 森 弘子
6	10月22日(水)	江戸時代の法律 - 公方御定書と犯科帳 -	西南学院大学国際文化学部 助教(博物館教員) 安高 啓明	6	12月10日(水)	江戸初期の大名文書1	西南学院大学国際文化学部 教授 宮崎 克則
7	10月29日(水)	犯科帳を読む - 盗みと抜荷 -	西南学院大学国際文化学部 助教(博物館教員) 安高 啓明	7	12月17日(水)	江戸初期の大名文書2	西南学院大学国際文化学部 教授 宮崎 克則

〈お問い合わせ先〉

西南学院大学 エクステンション課 TEL:092-823-3952

西南学院大学博物館  
SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM



〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号  
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室  
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

### ●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)  
休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]  
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]  
入館料 / 無料

## 来館者掲示板

卒業して33年……。  
娘と一緒にチャペルへ訪問させていただきました。  
懐かしい思い出いっぱいです。有難うございました。  
(2014年5月)

西南の歴史の重さを感じました。  
西南のOBで良かったです。  
(2014年6月)

ドージャー記念室が良かったです。  
ドージャー先生と夫人が教育に尽力された姿に感動しました。  
(2014年7月)

授業で学んだことも展示されていて、より深く理解できたと思います。  
ありがとうございました。  
(2014年8月)

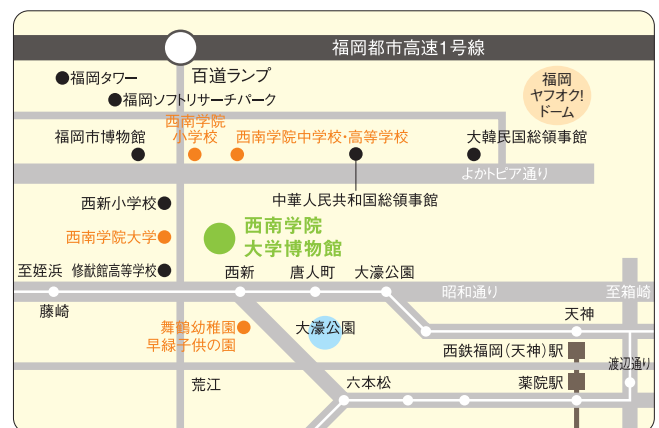
春と夏が過ぎ、あつという間の秋ですね。上の掲示板でご紹介しているメッセージが書き込まれた来館者ノートにも、独特の季節の移ろいがあることに最近気がつきました。たとえば、夏のオープンキャンパス。この時期には、たくさん的高校生から勢いのあるメッセージがページに連なります。メッセージを寄せてくれた高校生たちが、大学生、社会人となって、またメッセージを書きに来てくれたら……なんて想像をしてしまいます。

博物館スタッフ A・Y



## アクセスマップ

ACCESS MAP



地下鉄

福岡空港 → 西新駅下車...約17分  
博多駅 → 西新駅下車...約12分  
天神 → 西新駅下車...約8分  
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分



バス

博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分  
天神 → 修猷館前...約20分  
※修猷館前バス停から徒歩5分



タクシー

福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分  
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分  
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分